

# 高校生広報室の高校生見聞録

高校生の視点から鹿角の魅力を取材し、SNSを使ってPR活動をしているわたしたちが広報紙面でもまちの話題をお伝えします。

フェイスブックと一緒に応援してください。

<https://www.facebook.com/kazunokoukousei>

## 花輪ばやし特集

今回は、ユネスコ無形文化遺産に登録され盛り上がりを見せた花輪ばやしの練習風景を取材しました。花輪ばやしは、駅前行事が一番の見どころであるので、大人だけが参加しているお祭りと思われがちですが、実は子どもたちも屋台運行し、駅前行事に向かう前には「子供演奏コンクール」が開催されています。そのため、花輪ばやしに参加する子どもたちは、夏休みに入ると夕飯を食べた後にそれぞれの町内の練習会場で遅くまで練習に励み、頑張っているんです。

後継者不足と言われていますが、子どもたちが大人になっても花輪ばやしを受け継いでほしいですし、この広報を読んだ花輪ばやしに参加したことのない人たちも、来年からは一緒にお祭りに参加して楽しんでもらいたいと思っています。



花輪ばやしで使っている太鼓です。本番では、屋台の前列に大太鼓と小太鼓、2列目に小太鼓が設置されます。町内にもありますが、取材した大町では前に4人、後ろに5人です。演奏曲も町内で微妙に違います。



コンクールは演奏だけでなくバチさばきや掛け声も審査されるため、練習とはいへ真剣です。



太鼓を叩くコツは「手を高くまっすぐ上げて元気に叩くこと」だそうです。



(大町地区Mさんにインタビュー)「笛を始めたころは3日間ぐらいうがでませんでした。覚えるのは大変だけど、楽しいです。」



花輪ばやしは揺り鉢のリズムに合わせて演奏するので、一番重要なポジションになるそうです。



## 室員コラム

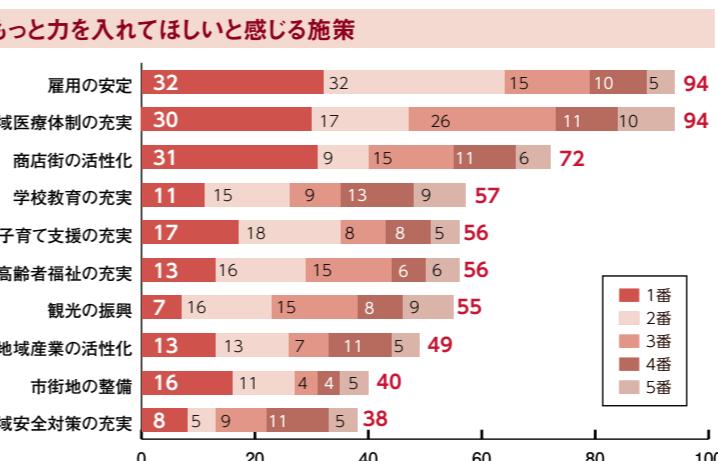
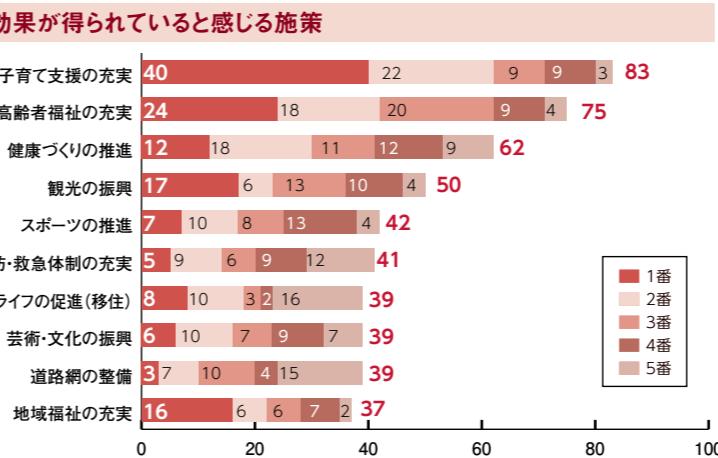
・花輪小と花輪一中では、夏になると授業で踊りの練習が始まります。体育館で輪になってひたすらグルグルと…。小学校低学年はうちわを持って練習していましたが、高学年になると扇子になるので、それに憧れていたことを思い出します。今年のお祭りの模様や、祭りの後なども取材し、フェイスブックに掲載していますので、そちらも見てください。【広報室員：みい・たばた・ゆーみ・姓】  
・花輪ばやしには参加したことないけれど、お囃子の速さや屋台の飾りの違いなどその町内の個性があって、見ていて楽しいお祭りです。誰でも参加できるということなので、来年以降参加したいと思っています。【広報室員：Shellingford・ことみ】



市が進めている36分野の施策を示すべきものを5つ選んでいただきまし、効果が得られているもの、強化すべきものを5つ選んでいただきます。

最も多くの方に選択されたのは、

効果が得られていると感じられる施策



もっと力を入れてほしいと感じられる施策

最も多く選択されたのは「雇用の安定」と「地域医療体制の充実」で、選択した方がわざかに多く、若者の働く場の確保を求める意見が多く寄せられました。

「地域医療体制の充実」の理由と

例年と同様「子育て支援の充実」でした。経済的支援のほか、コモツセの託児サービスなどが評価されています。

2番目に多く選択されたのは「高齢者福祉の充実」で、新たに施設の整備や、各種サービスの充実が評価されています。

3番目は「健康づくりの推進」で、がん検診など各種検診への受診勧奨のほか、幅広いサービスを実施して

花輪ばやしをもつと盛り上げ、外部の登録が理由として多く挙げられ、花輪ばやしのユネスコ無形文化遺産へ宣伝してほしいといった意見もよせられています。

5番目の「スポーツの推進」については、チャレンジで多くの市民がスポーツに取り組んだほか、スキヤ駅伝の大会を継続的に開催していることが評価されています。

上位5項目以外にも「鹿角ライフの促進(移住)」については、メディアで紹介、移住者の新規出店など目に見える形で成果を上げていること、「芸術・文化の振興」では、コモツセが芸術鑑賞の場として機能していることがそれぞれ評価されています。

5番目は「子育て支援の充実」と「高齢者福祉の充実」でした。がん検診など各種検診への受診勧奨のほか、幅広いサービスを実施して

花輪ばやしをもつと盛り上げ、外部の登録が理由として多く挙げられ、花輪ばやしのユネスコ無形文化遺産へ宣伝してほしいといった意見もよせられています。

4番目は「学校教育の充実」で、空き店舗の多さや、歩行者の少なさを寂しく感じるとの意見が多数ありました。

3番目は「地域医療体制の充実」で、空き店舗の多さや、歩行者の少なさを寂しく感じるとの意見が多数ありました。

2番目に多く選択されたのは「商店街の活性化」で、空き店舗の多さや、歩行者の少なさを寂しく感じるとの意見が多数ありました。

1番目に多く選択されたのは「子育て支援の充実」でした。経済的支援の充実のほか、情操教育の充実や、スクールカウンセラーの配置を望む意見がありました。

学力の向上のほか、情操教育の充実や、歩行者の少なさを寂しく感じるとの意見が多数ありました。

5番目は「地域医療体制の充実」でした。がん検診など各種検診への受診勧奨のほか、幅広いサービスを実施して

どちらの設問も、上位に位置する施策はほとんどが例年と同じものであります。効果が得られていると感じるものについては、継続的な取り組みにより成果が表れているものと考えます。しかし、効果が得られていると感じるものについては、改善に向けて重点的かつ戦略的に取り組んでいます。

「地域医療体制の充実」で選択した方がわざかに多く、若者の働く場の確保を求める意見が多く寄せられました。

政策企画課 総合戦略室

30・02・01